

飛田晋秀さん写真展 & 講演会

『福島のスズガタ』



3.11から10年・福島原発事故は終わっていない!



2.23@ なかのZERO 2021年2月23日(火・休)

◆写真展◆150枚の写真を展示します。

中野ゼロ・美術ギャラリー1

《入場無料》11:00~18:00

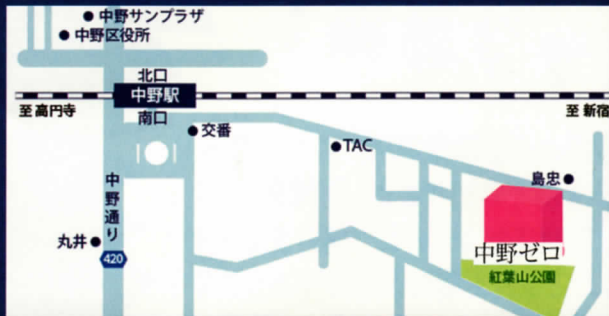
◆講演会◆スライド上映とお話、会場からの質問も受けつけます。

中野ゼロ・小ホール

《会場費500円》18:00開場

ひだ しんしゅう

飛田晋秀さんプロフィール
福島県三春町在住。30年間、職人を撮ってきた写真家。2011年3.11をうけ、「この現状を伝えていかなければ、誰かが伝えなければならぬではないか」と、避難区域などの写真を撮り、全国で写真展・講演を続けておられる。



★託児あり★
ご希望の方は事前にご連絡ください。

★感染症対策★

ご来場の際は、マスクの着用
手洗い・消毒・検温にご協力下さい。
尚、発熱ほか体調に不安のある方は
ご参加をお控え願います。

※新型コロナ感染拡大の状況に
よっては、写真展・講演会が
開催できない場合もございます。
予めご了承下さい。

●主催●飛田さん企画実行委員会

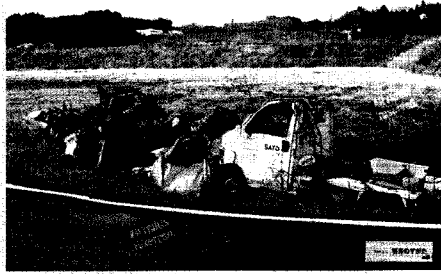
●呼びかけ●原発とめろ!新橋アクション/すべての原発いまずぐなくそう!全国会議(NAZEN)東京

●連絡先●なんぶユニオン 品川区大井1-34-5 河野ビル3F TEL&FAX 03-3778-0717

★最新情報はこちら→◆新橋アクションブログ◆blog.goo.ne.jp/shinbashi_action ◆NAZENブログ◆nazen.blog.jp

「この悲劇を絶対に忘れ去られないようにしてほしい」

2012年1月末、
初めて原発避難区域に入った。



放射線量が高い。
区域内には1時間半しか入れない。



臭い、味覚もない、目にも見えない。
ガイガーカウンターの音だけが
不気味に響いた。



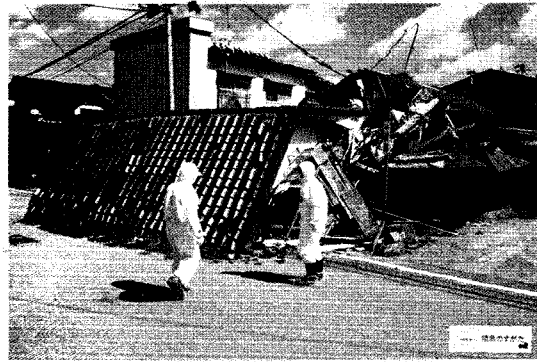
手もだるくなつたが、
夢中でシャッターを切りまくった。



そのうちにだんだんと怒りが湧いてきた。



↑上記の写真・文章すべて
〈NPO福島のがた〉WEBより引用
www.fukushimanosugata.com



飛田晋秀さん
『福島の記録』より

避難者は言う、
「自分たちは、
我が家の姿を見るたびに、
怒りがこみ上げてくる」
「原発事故さえ無ければ、
今もここに住み、家族が
ぼらぼらにならずにすんだ」
「もう度ることだ」
「出衆なくなつてしまった」

◆実行委員会より◆

今年 2021年3月11日をもって福島原発事故から
10年を迎えます。10年の節目に、改めて福島の声聞き、
ともに声をあげたいと考え、写真家の飛田晋秀さんの
写真展と講演を企画いたしました。

菅政権は10年の節目に、福島原発事故などなかったか
のように原発再稼働を進めようとしています。被災地である
女川原発、東京にもっとも近い東海第二原発、そして事
故の加害者である東電が柏崎刈羽原発の再稼働を着々と準
備していることは怒りに耐えません。

東電の責任を追及せず、救済することは、事故被害者の
切り捨てになります。避難を続ける住民、今まさに被曝し
健康被害を抱える人々、命を削って廃炉作業に当たる労働
者。解決などしていません。

原発はもういらない。私たちが3.11で立てたこの誓
いを、改めて福島とともに確認したいと思います。
ぜひお誘い合わせの上ご参加ください。

スタッフ募集!

当日の作品搬入や会場案内係、感染対策係、
事前の宣伝活動でのビラまき、賛同集めなど、
この企画を成功させるために、何か少しでも
手伝ってくださる方を随時募集しております!
連絡先→090-6658-1544 (担当・北島)

汚染水の海洋放出断固反対!
原発再稼働反対!
甲状腺検査の継続を!
オリンピックやっつてる場合か!